

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	北里大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キタサトダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	獣医学部生物環境科学科
	担当教職員名・役職	眞家永光・講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	46
	受入企業等数	48
	受入企業等名	神奈川県庁、十和田市役所、相模原市役所ほか
	インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ、8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	測量やCAD等を用いた設計、生物調査(環境調査)、土木工事、緑地・公園・オフィスビルなどの造園管理などを行う。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	①講義や実習で習得した知識や技能を実際の現場で高める、②常に目的意識をもって技術内容を理解する、③職業体験を通して職業意識の向上を図る、④実習を通して自己啓発を図る、ことを目的とすることをインターンシップマニュアルやシラバス等に明示し、実施している。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている、2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている、4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている、2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	ガイダンス等を通じて諸注意を連絡している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	報告会を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	シラバスに到達目標等を記載し、就業体験に関する報告書の内容等により評価している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間以上で受入先と調整
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)		
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実働10日以上(それが困難な場合は、実働5日以上を2か所)で1単位となっている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている、4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	

⑥	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先を選ぶ際は、インターンシップの目的に沿う企業・機関を選択することを学生に周知している。企業側には大学教育の内容とインターンシップの目的を伝え、教育内容が反映される内容のインターンシップを実施いただくよう依頼している。また、インターンシップ終了時には、受け入れ企業に依頼し、大学が作成した評価表に基づく学生の実習態度に関する評価をいただいている。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://www.kitasato-u.ac.jp/vmas/class/undergraduate/curriculum/general_re_h27_ikou.html">https://www.kitasato-u.ac.jp/vmas/class/undergraduate/curriculum/general_re_h27_ikou.html</a>
問い合わせ先	大学等名	北里大学
	担当部署名	獣医学部事務室教務課
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	杉田 裕保
	電話番号	0176-24-9380
	メールアドレス	sugita@vmas.kitasato-u.ac.jp